

令和7年度 まちづくりチャレンジ応援事業

団体名	オールグリーン		
事業名	心からはじまる住みやすい町大江		
人数	4人	代表者	寺田佳枝
補助金/事業費	295,000円 / 295,293円		
事業期間	令和6年8月1日～令和9年3月31日		
活動内容	<p>8月30日(土) 13時30分~16時30分 町民ホールにて 伊藤洋子先生による講演会・交流会を開催した。</p> <p>『自立した大人には分かりにくい「自立したくない心」の話～自信を持って人生を生きるために～』</p> <p>目的は、私たち大人も漠然ととらえがちな自立についてを心のほうから具体的な例とともに学び、これからの人生に役立てること。</p> <p>交流会ではお茶を飲みながらグループで話し合い、伊藤先生との質疑応答や全体で情報共有を行った。伊藤先生も各テーブルで話し合いや個別相談に応じてくださった。</p> <p>今回の講演会により、自立は幼児期から始まっていることがよく理解できた。講演後にオールグリーンへの個別相談が四件あり家族会参加につながった。伊藤先生からはオールグリーンの山形新聞の記事によりいろいろなところから講演依頼やカウンセリングの申し込みがあったとお聞きした。とても関心が高いテーマだった。</p> <p>また、今年度はこの事業費から動画配信をすることができ、当日参加できない多くの方々、また県内のSSWCの方々にも共有していただいた。</p>		
活動の様子 (写真等)			


令和7年度 まちづくりチャレンジ応援事業

団体名	Gokumees (ごくみーず)		
事業名	オリジナル応援ソングで大江町に元気をプロジェクト		
人数	5人	代表者	三嶋 理生
補助金/事業費	300,000円 / 320,939円		
事業期間	令和7年7月20日 ~ 令和8年2月28日		
活動内容	<p>JR左沢線応援ソングや柳川の宿に引き続き大江町の情景を歌詞にした新曲を制作し第2弾のPR応援ソングを完成。</p> <p>新曲1曲を含む2曲分のPVを制作し行政機関、温泉施設、道の駅等でPR動画として利用していく。</p> <p>町内外各種イベント、ミニコンサート等に出演し曲作りのきっかけや大江町の魅力について語りながら町のPR活動を実施した。</p>		
活動の様子 (写真等)			

令和7年度 まちづくりチャレンジ応援事業

団体名	大江インタープリテーション研究会		
事業名	大江町内の生物多様性の保全上重要な湿地の保全活動		
人数	3人	代表者	佐々木 隆馬
補助金/事業費	260,000円 / 260,000円		
事業期間	令和7年6月1日 ~ 令和8年3月20日		
活動内容	<p>大江町にとって非常に重要な生物多様性の拠点である2つの湿地（菅沼山湿原・軽井沢休耕田）で環境整備を行うことで、町の遺伝子資源と生態系サービスを後世に残すための調査、作業を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・菅沼山にて希少生物のモニタリング調査及び保全作業 （本郷東小学校4年生と共同作業実施） ・菅沼山湿地の状況に関する報告書作成 ・軽井沢にてヨシの生育状況調査及び保全作業 <p>次年度以降の保全作業に活かすことのできるデータの取得。 令和7年度は極度の渇水が発生し、希少種の生態系に大きな影響を及ぼしている可能性を認識。</p>		
活動の様子 (写真等)			

令和7年度 まちづくりチャレンジ応援事業

団体名	空欄		
事業名	若者向けメディアコンテンツ事業		
人数	5名	代表者	佐々木祥太
補助金/事業費	30,000円 / 30,000円		
事業期間	令和7年12月11日 ~ 令和8年3月19日		
活動内容	<p>大江町で過ごした経験のある3名のヒアリング調査を通して、若者が「町に残りたい」「帰ってきたい」と思うための要素を抽出。幼少期からの町での体験学習やそれらを見守ってくれる大人の存在などが重要であるという共通点が見出された。</p> <p>そして、それらヒアリングの内容を若者向けの記事としてnoteにて発信。さらに、記事への導線として紹介文をInstagramにて発信した。</p>		
活動の様子 (写真等)			



令和7年度 まちづくりチャレンジ応援事業

団体名	山崎区		
事業名	山崎区 50 周年記念祝賀会		
人数	22 世帯 (36 名参加)	代表者	森谷千代夫
補助金/事業費	300,000円 / 302,640円		
事業期間	令和 7年10月20日 ~ 令和 8年 3月20日		
活動内容	<p>山崎区 50 周年記念祝賀会</p> <p>山崎区は昭和 51 年に下北山地区北部に団地造成され誕生しました。本郷、七軒地区から 23 世帯が参集して早、50 年を迎えました。大江町、そして、近隣の地区の方々に支えられて歩んでこられたことに感謝を申し上げます。</p> <p>区発足以来、毎年、「開村式」を挙行し、融和とより一層の親睦を深めてきました。婦人会、青年会、若妻会の有志による芸なども披露され、大いに盛り上がりました。</p> <p>今回、令和 7 年 12 月 14 日に山崎集会所において、50 周年記念祝賀会を開催することが出来ました。松田町長よりご祝辞を賜り、お祝いに花を添えていただきました。また、アマチュア落語家として活躍されている（こいのすけ）様の落語で盛り上げてもらい楽しい一時でした。</p> <p>50 年を記念して記念誌も刊行させていただきました。これは山崎に移転する前の生まれ育った故郷での思い出、暮らしぶりを綴った記念誌です。これからの次世代に少しでも繋がればという思いです。</p> <p>山崎区は次なる 100 周年に向けて、新たな一步を踏み出しました。</p>		
活動の様子 (写真等)	